



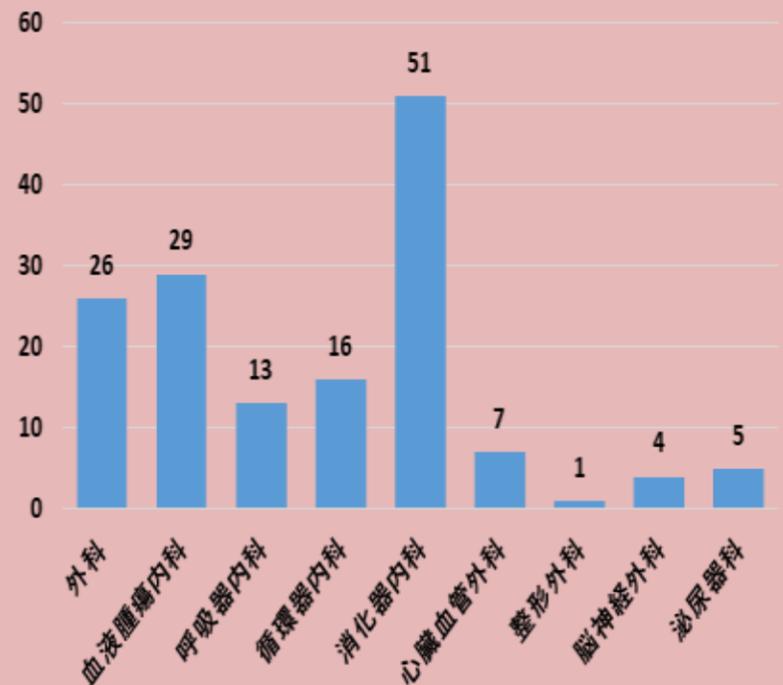
口腔ケアで健口に

口には食べるだけでなく、構音・発音、感情の表現や免疫、脳、呼吸への関与など全身に影響する機能があります。歯ブラシなどで口腔内や口腔周囲を刺激し清潔にすることでむし歯・歯周病、出血、口臭、誤嚥性肺炎や術後合併症、がん化学療法・放射線治療による口腔内トラブル、口の廃用などを予防・軽減し全身の健康回復につながります。早期の退院のためにも口腔ケアは大切なことです。



NSTの介入実績(科毎)

〈2018年7月～2018年12月〉



平成30年7月からの半年間で、延べ152人の患者さんにNST介入を行いました。NST回診は6チームで週6回、勉強会は毎月第2木曜日に開催しています。勉強会は職員ならどなたでも参加できますのでぜひご参加下さい。

術前・術後の口腔ケアについて



治療開始前に歯科口腔外科を受診し周術期口腔機能管理において感染源の診査、歯科衛生士による専門的口腔ケアをします。専門的口腔衛生処置により口腔粘膜炎の疼痛を緩和し食事を摂りやすいようにします。

(歯科衛生士 原志乃)

口の中をセルフケアしましょう

口の中には多くの細菌が存在します。歯があってもなくても、食事を食べていてもいなくても口の清掃は必要です。細菌が増えないようにうがい・歯磨き・義歯

の清掃をしましょう。甘味食品を摂りすぎない、よく噛んで食べることも大切です。



絶食中も口腔ケアが必要です

食事を食べていないと唾液が出づらくなり乾燥し、痰や血液などが厚く固着する場合があります。うがいや液状保湿剤で湿潤させたブラシやスポンジなどで口の中を清掃した後、洗浄・吸引又は拭きとりをします。1日3～4回行い乾燥しないようにします。

カテキンの虫歯予防効果

カテキンはポリフェノールの一種で主にお茶の苦渋成分です。カテキンは虫歯菌の増殖を抑えるほか、歯垢が歯にくっつくのを防ぐ働きなどにより虫歯の予防に役立ちます。

食後にお茶を飲んだり、お茶でうがいをすると、虫歯予防効果が期待できます。

